

特定計画の評価手法（案）

1. 特定計画の評価の目的

昨年度、第12次鳥獣保護管理事業計画期間に合わせて改定された各府県のニホンザルの特定計画を記載内容と都府県を対象に実施したアンケート調査結果から、ニホンザルの保護・管理上の課題を抽出した。その結果、改訂版ガイドラインに掲載した内容が特定計画に反映され、計画の実効性が高まるように、改訂版ガイドラインの普及が課題として挙げられた。

また昨年度開催した本検討会において、実効性のある特定計画を作成するために必要な評価指標をつくるべきとの意見が出された。

そこで特定計画と計画に基づく管理施策の実施状況等を評価することにより、特定計画とその実行上の問題点や不足部分を明らかにし、それらの点を中心に改善や補強を図ること、特定計画の実効性を高めることを目的とした評価手法を検討した。

2. 評価手法の検討

特定計画を評価する基準としては、昨年度整理した特定計画上の課題や昨年度の検討会で出された意見（参考資料1参照）などを基に、表1のとおり評価基準（案）を設定した。

表1 評価基準（案）と設定根拠

評価基準（案）	設定根拠
①計画目標が適当に設定されているか	課題：中長期的な目標が未設定、加害レベル低減を目標としていない
②現況把握（群れの生息状況）がどの程度なされているか	課題：群れの把握状況が不十分
③実施計画が策定されているか	課題：実施計画の策定が不十分
④計画的な個体数管理がどの程度実施されているか	課題：計画的な個体数管理が不十分 検討委員からの意見を反映
⑤被害防除対策がどの程度実施されているか	課題：組織的な被害防除対策が不十分 検討委員からの意見を反映
⑥人材育成がどの程度実施されているか	検討委員からの意見を反映
⑦連携がなされているか	課題：広域的な連携、地域間・組織間・諸計画間の連携に実効性がない
⑧特定計画の評価・改善が図られているか	課題：前期計画の評価・改善が不十分 検討委員からの意見の反映

また評価に当たっては、評価基準ごとにその達成度の「ものさし」となる指標を設定し、表2に評価基準、指標をまとめた。

具体的な評価方法は、評価基準ごとに評価する指標の該当する内容を選択する。選択した内容の点数を評価基準ごとに合計し、得点を求める。評価基準によって指標の数や配点が異なるため、評価基準ごとに得点を最高配点で割ることで、各評価基準の達成度を割合で示すことで評価を行う。すなわち、100%に近い評価基準ほど達成度が高いこととなる。

評価は、自治体の担当者が、特定計画の内容や計画の実施状況等を基に自己評価（セルフチェック）することを想定しており、評価結果は、評価基準ごとに割合をレーダーチャート形式で示すことで、レーダーチャートの形状から各計画の不足点などが明確になるほか、計画ごとの比較や同一都府県での経年的な比較が可能となることを目指した。

また評価基準ごとに最低限実施しておくべき内容を示すために、基準点（及第点）を設けた。

3. 評価の試行

表2を基にニホンザルの第二種特定鳥獣管理計画（以下、特定計画）が策定されているA県とB県について試行的に評価を行った。評価は、平成29年度に都府県に対して実施されたアンケート調査の結果、現行の特定計画の記載内容、また特定計画に基づく実施計画が策定されている場合には実施計画の記載内容を基に行った。なお、これらの資料によって内容が異なる場合、アンケート調査の結果の内容を優先して評価した。

4. 評価試行の結果

A県、B県の各評価指標の得点を表3に示した。A県は、毎年度実施計画が策定されており、その計画で年度ごとの細かい取り組みについて記述があったため、概ね各評価指標について点数をつけることができた。一方、B県は、個体数調整、被害防除、人材育成、連携については、特定計画に記載があるものの実施内容についての記載がない、もしくはそもそも記載がなかったため、詳しい評価が困難であった。そこで今回はこれらの評価指標については、記載がある場合は1点、ない場合は0点を配点して評価をした。

表3の評価得点を基にA県、B県の評価結果をレーダーチャート形式で図1に示した。

A県については、評価の高い評価基準が多いため、ガイドラインに沿った計画的な管理ができていると考えられる。ただし、計画目標については、群れ管理のイメージ図などは掲載されているものの、短期的な目標なのか、中長期的な目標なのか、計画の記載内容からは読み取れなかったため、評価が低くなった。また人材育成に関しても、具体的な取り組みの内容が特定計画からも実施計画からも読み取れず、同様に低い評価となった。A県については、評価の低かった基準について、実施できていない場合は、評価指標とした内容（取り組み）を進める必要がある。

一方、B県については計画の目標、連携、特定計画の評価・改善については高い割合となっているものの、その他の基準については非常に低い割合となっているため、特定計画にあまり実効性がないことが伺える。B県については現状把握と実施計画の策定が特に不足し

ているため、まずはこれらの基準について取り組みを進める必要があると考えられる。

以上の結果から、本手法により特定計画の取り組みについて評価することで現状の把握および改善点を認識することができると考えられるが、今回の評価については一部の指標について評価が難しいこともあった。より適正な評価を行うためには、正確な情報、特に計画に記載されていない内容や記載されていても実行されているかについて情報を収集して評価を行う必要があると考えられる。

表2 評価基準と指標と配点

評価基準	指標	配点(黄色が基礎点(必須)以上の点数)																点数																				
①計画目標が適当に設定されているか	短期的(5年間)な目標の設定	あり:1				なし:0				基礎点3								合計点0~4で評価																				
	中長期的(10年程度以上)な目標設定	あり:1				なし:0																																
	具体的な目標(加害レベルの低減、被害金額の低減等)の設定	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0													
	さらに具体的な目標(数値目標等)の設定	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0													
合計		4	3	2	1	0																																
②現況把握(群れの生息状況)がどの程度なされているか	被害発生市町村の〇〇がモニタリングステップ3※1	全て:4				1/2以上:2				1/2未満:0				基礎点4								合計点0~6で評価																
	被害発生市町村の〇〇がモニタリングステップ4以上	全て:2	1/2以上:1	1/2未満:0	1/2以上:1	1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0										1/2未満:0	1/2未満:0	1/2未満:0													
合計		6	5	4	3	2	0																															
③実施計画が策定されているか	実施計画が策定されているか	全ての被害発生市町村にあり:4				一部の被害発生市町村にあり:2				なし:0				基礎点4								合計点0~6で評価																
	実施計画を毎年度、評価・見直ししているか	あり:1	なし:0	なし:0	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0													
	実施計画を策定・評価するための仕組み・体制(有識者による検討会、科学委員会等)はあるか	あり:1	なし:0	なし:0	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0													
合計		6	5	4	4	3	2	0																														
④計画的な個体数管理がどの程度実施されているか	加害群、加害個体を特定した捕獲を実施しているか	全ての被害発生市町村で実施:2										一部の被害発生市町村で実施:1				なし:0		基礎点6								合計点0~8で評価												
	モニタリング結果に応じた捕獲オプション※2を選択しているか	全て:2										一部:1				なし:0																						
	捕獲後の群れのモニタリングは行っているか	全て:2				一部:1				なし:0				一部:1													なし:0											
	捕獲後の被害のモニタリングは行っているか	全て:2	一部:1	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0					
合計		8	7	6	6	5	4	5	4	3	2	4	3	2	1	0																						
⑤被害防除対策がどの程度実施されているか	追い払いを実施しているか	全ての被害発生市町村で実施:2														一部の被害発生市町村で実施:1				なし:0		合計点0~10で評価																
	防護柵を設置しているか	全て:2										一部:1				なし:0		一部:1												なし:0								
	防護柵の維持管理はされているか	全て:2										一部:1				なし:0		一部:1												なし:0								
	住民による組織的な対策(追い払いなど)はされているか	全て:2				一部:1				なし:0				一部:1				なし:0												一部:1				なし:0				
	監視員などサル対策の要員は配置されているか	全て:2	一部:1	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0									なし:0	なし:0	なし:0	なし:0					
合計		10	9	8	8	7	6	7	6	5	4	6	5	4	3	2	5	4	3	2	1	0																
⑥人材育成がどの程度実施されているか	都府県が都府県の職員を対象とした研修会を実施しているか	あり:1	なし:0	基礎点3 青同士、緑同士が合計点が3点になる組み合わせ																		合計点0~6で評価																
	都府県が市町村の職員を対象とした研修会を実施しているか	あり:1	なし:0																				なし:0															
	小計	2	1																				0															
	市町村が集落の代表者・リーダーを対象とした研修会を実施しているか	全ての被害発生市町村で実施:2																					一部の被害発生市町村で実施:1				なし:0											
	市町村が集落の一般住民を対象とした研修会を実施しているか	全て:2	一部:1																				なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	なし:0	一部:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0
小計		4	3	2	2	1	0																															
⑦連携がなされているか	都府県内の部局間の連携(部局ごとの役割分担の明示、部局を跨いだ会議、意見交換等)	あり:1										なし:0						基礎点3								合計点0~5で評価												
	都府県と市町村の連携(役割分担の明示、実施計画の有無・調整、連絡会議の有無等)	あり:1				なし:0						あり:1				なし:0																						
	行政と住民の連携(情報の共有や状況の共有等)	あり:1				なし:0				あり:1				なし:0																								
	市町村間の連携(広域協議会の設置や意見交換等)	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0						
	都府県間の連携(広域管理のための連絡会議等)	あり:1	なし:0	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0										なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0	なし:0					
合計		5	4	4	3	2	2	1	2	1	1	0																										
⑧特定計画の評価・改善が図られているか	評価しているか	あり:1				なし:0				基礎点2								合計点0~3で評価																				
	改善策を示している	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0																																	
	評価・改善を図るための仕組み・体制(有識者による検討会、科学委員会等)があるか	あり:1	なし:0	なし:0	なし:0																																	
合計		3	2	1	0																																	

※1ガイドラインで示したモニタリングステップ
 ステップ1: サルの群れ(特に加害群)がどこに分布しているか把握している
 ステップ2: 群れがどこに何群、何頭くらい分布しているかおおよそ把握している
 ステップ3: 群れの加害レベルをおおよそ把握している
 ステップ4: 群れの行動域をおおよそ把握している
 ステップ5: 各群れの頭数、構成(性別、成・幼獣)を把握している
 ※2捕獲オプションについてはガイドライン、H30保護管理レポートを参照

表3 特定計画の評価試行の結果（各計画の得点）

評価基準	評価指標	得点	
		A県	B県
①計画目標が適当に設定されているか	短期的(5年間)な目標の設定	1	1
	中長期的(10年程度以上)な目標設定	0	1
	具体的な目標(加害レベルの低減、被害金額の低減等)の設定	0	1
	さらに具体的な目標(数値目標等)の設定	0	0
②現況把握(群れの生息状況)がどの程度なされている	被害発生市町村の〇〇がモニタリングステップ3	4	0
	被害発生市町村の〇〇がモニタリングステップ4以上	2	0
③実施計画が策定されているか	実施計画が策定されているか	4	0
	実施計画を毎年度、評価・見直ししているか	1	0
	実施計画を策定・評価するための仕組み・体制(有識者による検討会、科学委員会等)はあるか	1	0
④計画的な個体数管理がどの程度実施されているか	加害群、加害個体を特定した捕獲を実施しているか	2	1
	モニタリング結果に応じた捕獲オプションを選択しているか	2	1
	捕獲後の群れのモニタリングは行っているか	2	1
	捕獲後の被害のモニタリングは行っているか	2	1
⑤被害防除対策がどの程度実施されているか	追い払いを実施しているか	2	1
	防護柵を設置しているか	1	1
	防護柵の維持管理はされているか	1	0
	住民による組織的な対策(追い払いなど)はされているか	1	0
⑥人材育成がどの程度実施されているか	監視員などサル対策の要員は配置されているか	1	0
	都府県が都府県の職員を対象とした研修会を実施しているか	1	1
	都府県が市町村の職員を対象とした研修会を実施しているか	1	0
	市町村が集落の代表者・リーダーを対象とした研修会を実施しているか	0	0
⑦連携がなされているか	市町村が集落の一般住民を対象とした研修会を実施しているか	0	0
	都府県内の部局間の連携(郵局ごとの役割分担の明示、部局を跨いだ会議、意見交換等)	1	1
	都府県と市町村の連携(役割分担の明示、実施計画の有無・調整、連絡会議の有無等)	1	1
	行政と住民の連携(情報の共有や状況の共有等)	1	1
	市町村間の連携(広域協議会の設置や意見交換等)	1	1
⑧特定計画の評価・改善が図られているか	都府県間の連携(広域管理のための連絡会議等)	1	0
	評価しているか	1	1
	改善策を示している	1	1
	評価・改善を図るための仕組み・体制(有識者による検討会、科学委員会等)があるか	1	1

※ 灰色の網掛けは特定計画、実施計画に記載があるが実行されているか不明、もしくは記載がない項目
また、どのぐらいの市町村で行われているか不明のため、記載がある場合は得点1、記載がない場合は得点0とした

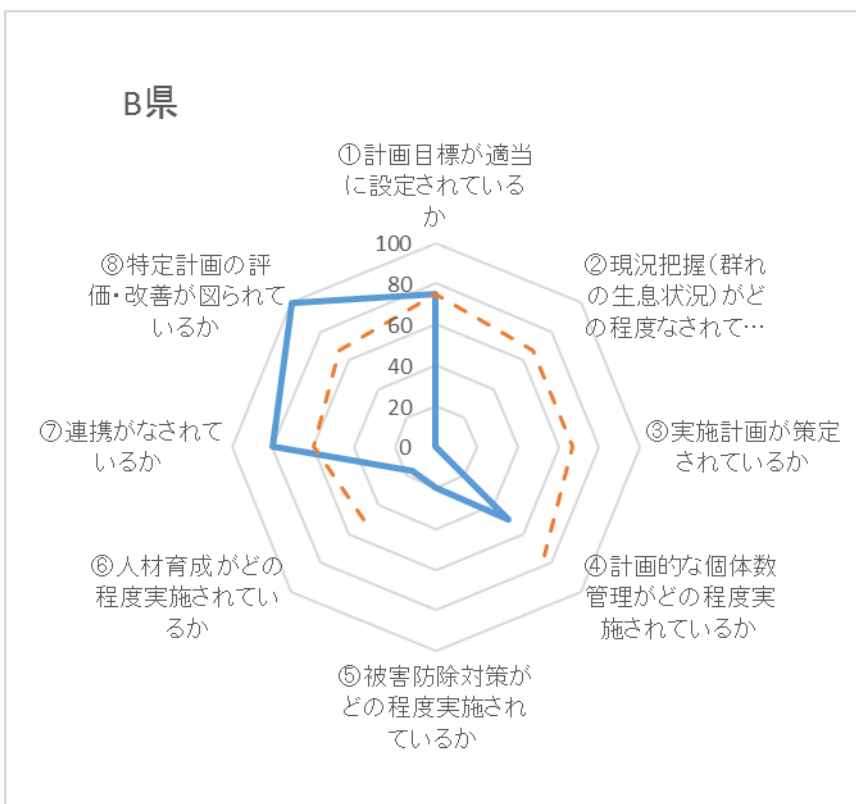
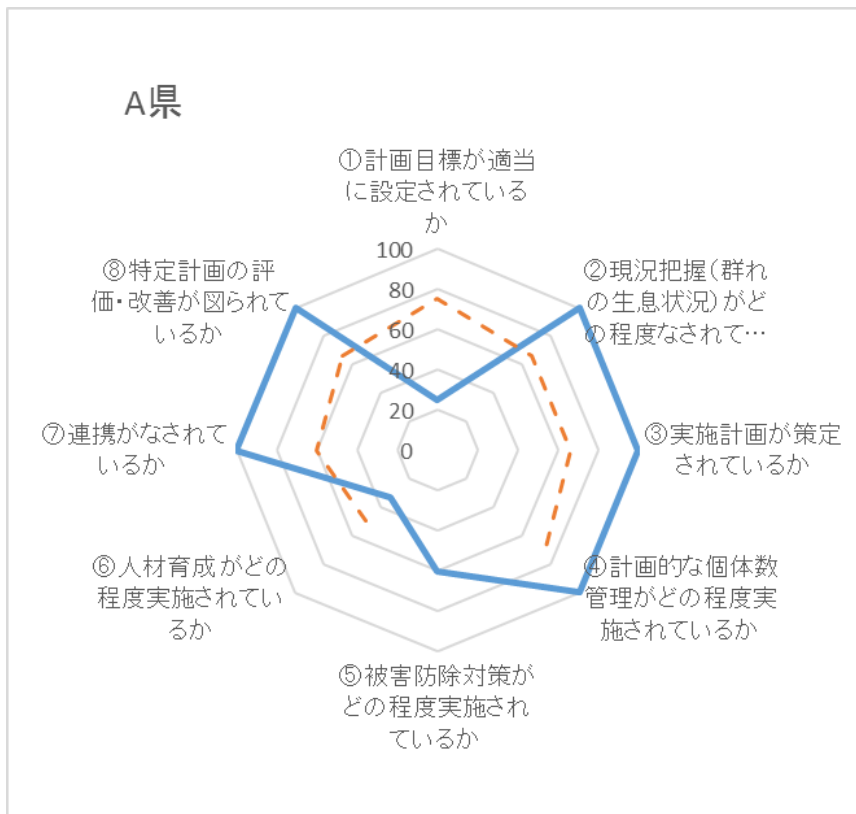


図1 評価試行の結果 (上図：A県 下図：B県)